



研究会会員の皆様、こんにちは。立春を過ぎましたがまだまだ寒いですね。

お正月はどう過ごされたでしょうか(ずいぶん経ちますが…)。京都はすごい雪でしたね!京都の北の方の会員さんによると、北部はまだまだ雪景色のようです。

では、会報、いってみましょう。

皆さんも、何か載せたいこと(告知、連絡、紹介など)、そしてご意見・ご感想などありましたら、ご連絡下さいね。

目次 1. 前回例会報告

2. 次回例会案内(次回は3/29。京阪三条か東山近くの「東山いきいき市民活動センター」にて行いますよ。)

3. 編集後記

1. 第10回例会報告

○日時: 2014年11月23日(日・祝) 13:30~16:30頃 ※受付13:15~

○実践: 板谷 優子さん

伴奏: 井上 みちよさん

○内容: 「音楽療法における視覚刺激の効果」

○場所: 京都市東山いきいき市民活動センター

○参加人数: 10名

○会計報告: 40円(参加費1人分) × 10名 = 400円

経費・・・部屋代400円



○感想 とってもとっても楽しかったです。抜群の魅せる(見せる)力と参加者を虜にする力
音楽テクニックとセンス等々近くで体験することができ有意義な時間を過ごせました。

機会があれば何度でもやって頂きたいと思ってしまいました。

本当にありがとうございました。

♪会計報告とこちらの感想は松原さんでした。冬らしい素敵な絵も!

ありがとうございました~。



昨日はすばらしい研究会をありがとうございました。

例会と言うのにはもったいないような充実した内容で初めての参加でしたがすべてに感動しました。

昨日を振り返って思うのは「色」がキーワードだったということです。

まずは東山の紅葉の「色」です。窓から見える銀杏の「色」も光が刻々と変わる午後の時間帯で『紅葉』をゆったりと歌いながら百均で買われたという紅葉でも、実際の紅葉がイメージ出来ました。

セッションが始まってからは、主セラピストの板谷先生の服装の「色」の変化に引き込まれました。

そして先生の醸し出される「色」気にも圧倒されました。

さらにそれ以上に感動したのは先生の声の「色」です。語られるとき、歌われるとき、演じられるときのそれぞれに変化しながらもいつも私たちを安心させてくださる「色」でした。

また伴奏者の井上先生の音「色」で、音楽療法の伴奏者として目指すべきすべてをお教えたいただいたような気がします。

アップライトのピアノがこんなに効果的に使えるのだとびっくりしました。（譜面台にピアノカをおいて演奏されることも新しい発見でした）

それは先生がまるで板谷先生が言われるようにバスの運転手の様に私たちを安心して音楽の旅に運んでくださったからだと感じました。

急ブレーキもかけずに常に主セラピスト（まるでバスガイドのような）の動きを感じながら、さりげない補助もしながら演奏を続けてくださいました。

特に左手をピアノで奏で、右手でピアノカを吹奏された『旅の夜風』の伴奏には鳥肌がたちました。

感謝の気持ちがいっぱいなのは、セッションをしてくださった先生がたはもとより、参加者の皆様の暖かい心の「色」があったからです。

初めての参加の私は緊張と不安でしたが、優しく受け入れていただけたことで、楽しくセッションに参加できました。

この3時間がわずか40円とはびっくりです。0があと二つくらいあってもおかしくない充実した気持ちでした。まだまだ書きたいことはありますが、また次回の例会でもっと多くの会員の先輩方と出会うことを楽しみにして感想を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(N. A)

例会に初めて参加されたNさんの感想です。「雰囲気わかる感想をぜひ送ってください!」とお願いしました。

「色」をキーワードにした、その感動が伝わるような素敵な文章ですね～。ありがとうございました。

板谷さん、楽しいセッションをありがとうございました。お疲れ様でした。

なかなかコスプレは勇気がいりますが、小物などを取り入れるというヒントをいただきました。

またこのような機会を作っていただきたいと思います。楽しみにしています。

よろしくお願ひ致します。

(N. M)

Iさんコンビの発表すばらしかったです。お互いの信頼関係は長年の蓄積からくるものなのでしょう。そして、音楽スキルの豊かさ高さは、お二人の日頃からの努力の賜物でしょうね。高齢者のために自分らの生まれる前の唱歌、童謡、流行歌を掘り起こし、日々練習され、楽器に加えビジュアル的（衣装、振り、四季折々の植物）にも、常に新しく細やかで優しい工夫をされてることに感心しました。目のやり場に困る場面もありましたが・・・?（笑）

さて、参加者のお一人Yさんの、私が『高校三年生♪』になると伸び伸びと歌



っていたというお話ですが、私は舟木一夫とは同世代ではないですよ（笑） たぶん、私の二人の姉と兄がS 19年、22年、24年生まれのせいだと思います。6月12日付けの私のブログに書きましたが、生まれ故郷の宮崎でのS30年代（映画や漫画の ALWAYS 三丁目の夕日 の時代）白黒テレビが広まりだした頃に、当時の人気歌番組（『ロッセのアルバム』 「一週間のご無沙汰でした。司会の玉置宏です」は有名なセリフ）がありまして、舟木一夫、橋幸夫、西郷輝彦の御三家が大人気で、同時に思春期の姉や兄が盛んに歌っていたのを、年齢離れた幼い私が、知らず知らずのうちに覚えてしまったという感じです。私は新御三家（西城秀樹、郷ひろみ、野口五郎）より一つ年下です。Yさんら若手の音楽療法士の皆さんは、私の世代が高齢者になったら、『YMCA♪（ヤングマン）』を歌って踊らなあかんで～（笑） じいちゃん、ばあちゃんがヤングマン♪なんて、終了後には泡を吹いて卒倒しそうやね（笑）（T.H）

若手(?)のYです。ヤングマン、準備します。笑 えっ！踊りもですか～？笑

《板谷さんより》

発表を終えて



11月23日、秋の観光シーズン真っ只中 音楽観光バスにご乗車ありがとうございました。

普段のセッションと違い、全員顔がわかっている研究会メンバーの前では少し照れくさくもありましたが、CLになりきりのプロ集団の盛り上げに、気持ちよくバスガイドを務めさせていただきました(笑)

自分でもあらためて視覚刺激の大切さを実感したセッションでもありました。持って行った紅葉や栗、柿の造花を目の前で振りながら歌ってくださる姿にいつのまにか自分も癒されながら。今回は東京ツアーでした。

が、次回の行き先を思案中です。運転手 井上みちよ、バスガイドは板谷優子のご案内いたしました。またのご乗車お待ち申し上げております。

2.次回例会

京都音楽療法研究会 第11回例会のお知らせ

さて、次回の例会のお知らせです。その前にお詫びがあります。ホームページの掲示板や口頭で、次回は「鹿児島から白井祐浩さんが来てくれて、北田とブエノスアイレスで発表した内容の方法『セラピスト・センタード・トレーニング』を音楽療法関係者の皆さんとやってみようと思います。」というような告知をしていたのですが、白井さんがどうしても来れなくなり、しかし、白井さんもぜひ一緒にやりたいとのことで、申し訳ありませんが延期とさせていただきます(今のところ6月14日になりそう)。白井さんからも「ごめんなさい。皆さんによろしく。」とのことです。

で、そしたら今回はどうしよう!と困ってしまったのです。今から他の方に頼むのも悪いし…。みんなで音楽遊びをするのはどうかな～とか色々考えたのですが、数人から「北田さんが好きに使ったら?」というありがたいお言葉をいただき、(またまた)私が登場することにいたしました。困っている北田を助けると思って参加してください(笑)。いや、そのことにより、皆さんのメリットにもなればいいなあとは思っております!

日時：2015年3月29日(日) 13:30~16:30 ※受付13:15~

内容：「音楽(療法)の会を進めていく人の持ち味について考える」

《北田より》

私の修士論文は「施設入居高齢者のためのグループ『音楽とおしゃべりの会』の探索的研究～パーソンセンタードアプローチの視点から」というタイトルで書いたのですが、それをコンパクトにして、どこかで発表するか何かしようかな…と思っています。でも、「これは音楽療法関係者の人はまあ大体はやるようなことで、大そ

れたなことではないよな…」とすぐ考えて、筆が進まなくなります。でも、やっぱりどこか「北田っぽい」はずではないか?とも思います。そこで、その修士論文からエピソードをいくつかピックアップして皆さんにお伝えし、それに対して、「私ならこう考えてこうやるかな」とか「何でこうしたの?」とか「この時何を考えてたの?」とか質問したり言ってもらったりする…という会にしようかなと思います。実践をしていない方の素朴な疑問から、バリバリやってる方の鋭い質問まで、色んな方に聞いていただいて、私が考えを進めるのの後押しをしていただけるととてもありがたいなあと思っています。

話題提供者： 北田 朋子

※出来れば当日司会をどなたかにしていただけると助かります。事前申し出でも当日でも構いませんので、よろしくお願いします。

申 込： 3/25(水)までにメール(研究会宛。上記参照。)or ハガキ(畑陽子様宛)にて。

《大事なこと》 お申込なしに来られた方には、資料等の用意が出来ません。そんな場合は、資料原本を、受付でお貸ししますのでご自分でコピーに行ってくださいね♪
逆に申し込んでいて来られなくなった方には、資料の用意をしております。
なので買い取りをお願いしますね♪

参加費： 場所代(400円)を、参加者で割ります。別途、資料コピー代がかかることがありますので、小銭をご用意してご参加くださると助かります。

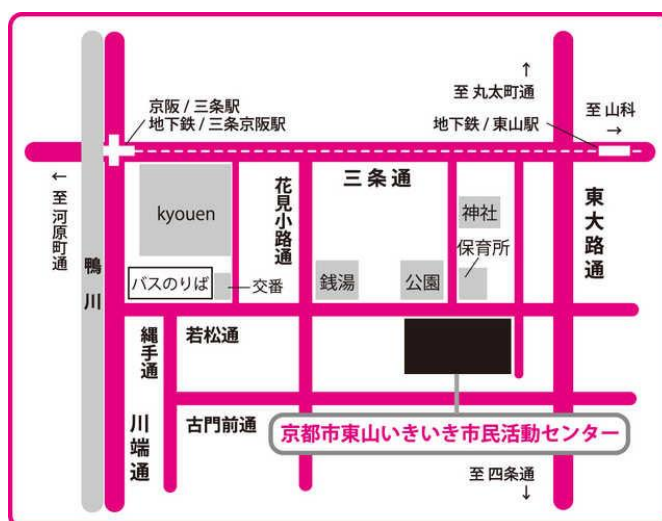
場 所： 東山いきいき市民活動センター1F 会議室 5

東山いきいき市民活動センター 〒605-0018 京都市東山区花見小路通古門前上る巽町450番地
(花見小路通古門前上る東入る南側。保育所と公園の向かい側にあります。)

■最寄駅・バス停■各駅、停留所より徒歩5～7分です。

【京都市営地下鉄東西線】三条京阪・東山 【京阪本線】三条

【京都市バス】5, 12, 46, 100, 201, 202, 203, 206 系統 … 東山三条
5, 10, 11, 12, 59 系統 … 三条京阪前



3.編集後記～下関だより～

のっけから言い訳していますが、この研究会、私の私物にしたいわけではないんです。けど、どうしても北田の登場回数が増えて、私自身がざわざわしています…。本当に、「皆さんがいいように使っていただいたらうれしい!」って思っているんですよ。まあ、その例のような気持ちで見ただけならいいのですが…。ただ、一人の人の「いいように使う」例会内容は、その人がその体験をていねいに取り扱おうと、もしかしたら、他のそれぞれの人にも案外深く届くかも…そうであればいいなあ…とも思っています。とはいえ、ご意見ややりたいことのイメージがある方は、こそっとでもいいので教えてください。